

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	スーパースウィング	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.452	ΔRG	0.045	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：Super Swing

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **3 3/4** インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番

比較対照ボール：Power Swing

フレアーの幅 インチ

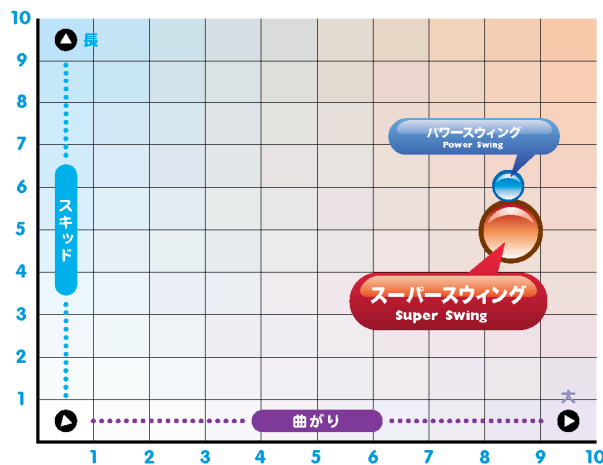
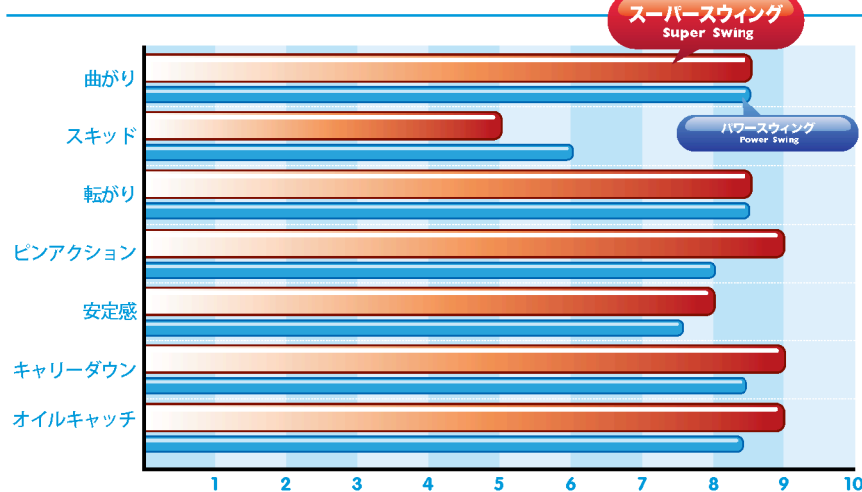
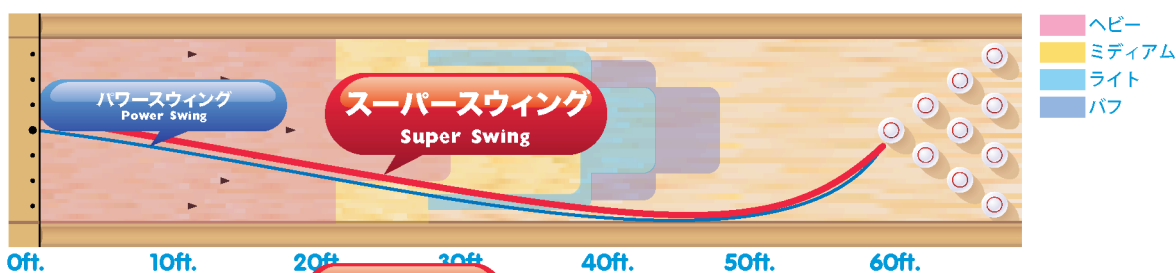
PAPからピンとの距離 **3 3/4** インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番



ボールの評価

オイルに負けない性能、比類なきピンアクション、そして吸い込まれるよう安定した軌道とポケットヒット。初代スウィングから始まり、パワースウィングへと性能はシフトしても絶大なる支持で活躍の場をプロトーナメントのみならず、リーグや大会等でも好成績を残し続けています。

今回のスウィングは初代スウィングのミッドエリアでの動き出しとパワースウィングの持つバックエンドリアクションを兼ね備える性能をコンセプトに日本完全OEMでこのスーパースウィングを発売致します。

このスーパースウィングは、スピードが平均より速めの方、回転数も平均より少ない方でも曲がりを得られるよう、手前からの動きを重要視し、尚且つバックエンドリアクションまで得られるよう開発を進めてきました。一般的に「曲がる」というイメージをもつ重要項目は「動き出し」がどのように曲がり始めるかということ。特に曲がらないイメージを持つときには「大体この辺で曲がるのに」という部分で曲がり始めが見えないこと。このスーパースウィングはその曲がり始めに着目し、その曲がり始めを強調させてこそ「曲がるボールだ」という確信を得ること。その曲がり始めが見えるからこそ安心してスイングできる事こそが、このスーパースウィングの名の由来なのです。

ピンアクションに関しても初代スウィングの柔らかいタップ率を軽減できるヒッティングパワーを継承しています。基本設定はミディアムヘビー対応ですが、ボウラーのタイプにより表面加工を番手を落とすことも忘れてはいけません。箱出しのまま自分流の思うような曲がり始めが見られない場合、その曲がり感が得られるところまで表面加工を施してください。

特記事項

安心してスイングし、曲がり得られるように開発を進められたスーパースウィング。特に曲がり少ないと思われる方には是非使用して頂きたいボールです。